

校長あいさつ

国立都城工業高等専門学校  
校長 和田 清



近年、経験したことのない新型コロナウイルス感染症のパンデミックが世界中を支配し、昨年度は本校も従来と大きく異なった学校運営となり、「学びを止めない」ために、ICT を駆使してオンライン授業を進めました。また、残念ながら、対面式の多くのイベントが中止となりました。

今年度、新たに企画した「おもしろ科学フェスティバル」は、小中学校の児童・生徒の皆さんに科学技術への興味を醸成して、学ぶ楽しさを体験するものです。そのために、本校教員と学生、地域の企業技術者の方々に、科学技術に興味・関心が湧く教材開発を提供していただきました。子どもたちだけでなく保護者の皆様も楽しんでいただければ幸いです。

ポストコロナに向けて、産業構造や労働環境などの大きな変革を見据えて、教育環境の改善が急務となっています。グローバル化とわが国の少子高齢化の進展において、Society5.0 を支える技術である IoT、AI、高度通信ネットワーク(5G)、ロボティクスなどを多分野に社会実装することが加速されます。さらには、2030 年の世界を変えるための目標(SDGs)に向けて、わが国からも多くの新たなイノベーションが期待されています。

国立高専は、来年度、高専制度創設 60 周年を迎えます。中学校卒業後の本科 5 年間の一貫教育および専攻科 2 年間の研究活動を実施する高等教育機関です。また、卒業後の進路は多様で、就職以外にも、専攻科進学あるいは大学 3 年次編入学、専攻科からの大学院進学などの多様なキャリアパスがあります。このフェスティバルの科学技術体験を通して、高専教育の一端に触れていただき、高専のポテンシャルを知っていただければ幸いです。

最後に、今回のフェスティバルの開催に際しまして、多くの企業や団体からご支援をいただきました。紙面を通じて、改めてお礼を申し上げます。